

参 考 資 料

1	長久手市観光交流基本計画改定検討会	・・・	41
2	アンケート調査	・・・・・・・・・・・・・・・・	44
3	ながくての手	・・・・・・・・・・・・・・・・	53
4	パブリックコメントの結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	56

1 長久手市観光交流基本計画改訂検討会

長久手市観光交流基本計画改訂検討会開催経緯

区 分		実施内容
第 1 回	日 時	平成26年11月26日（水）午前10時30分から正午まで
	場 所	まちづくりセンター2階 集会室1
	議 題	(1) 観光交流基本計画改訂の目的及びスケジュール等について (2) 現行観光交流基本計画の検証について (3) ヒアリング・アンケートについて
第 2 回	日 時	平成26年12月17日（水）午後4時から午後6時まで
	場 所	西小校区共生ステーション 会議室
	議 題	(1) 前回（第1回検討会）のふりかえり (2) 本市の目指す新しい観光について (3) 新たな観光資源を繋げる手段について (4) アンケートについて
第 3 回	日 時	平成27年1月27日（火）午前10時から正午まで
	場 所	市役所北庁舎2階第5会議室
	議 題	報告：アンケートの実施状況について (1) 前回（第2回）のふりかえり (2) サードプレイスの提案について (3) 観光交流基本計画改訂内容について
第 4 回	日 時	平成27年2月12日（木）午後2時から午後4時まで
	場 所	市役所北庁舎2階第5会議室
	議 題	報告：アンケート・ヒアリングの集計結果について (1) 前回（第3回）のふりかえり (2) 観光交流基本計画改訂内容について (3) パブリックコメント（案）について (4) (仮)「まちづくりフォーラムながくての手2015」について
第 5 回	日 時	平成27年3月25日（水）午前10時から正午まで
	場 所	市役所北庁舎2階第5会議室
	議 題	報告：パブリックコメント結果、「みんなのフォーラムながくての手2015」開催結果について (1) 第2次長久手市観光交流基本計画（案）について

長久手市観光交流基本計画改定検討会設置要綱

(要綱の趣旨)

第1 この要綱は、長久手市観光交流基本計画改定検討会（以下「検討会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的及び名称)

第2 長久手市観光交流基本計画の現状と課題を抽出し、市を取り巻く社会背景を考慮し、長久手市の地域資源を観光資源として将来に活かす施策検討を行うことを目的とする。設置する検討会の名称は、長久手市観光交流基本計画改定検討会とする。

(職務)

第3 検討会は、観光関係団体、市民、大学、行政間で長久手市の地域資源を掘り起し、観光資源として活用する方策検討を行う。また、民間（観光団体、市民、大学等）と行政との観光施策の役割分担を明確にするべく観光交流基本計画改定の職務を行う。

(組織)

第4 検討会の委員は、市長が指名する別表のメンバーで構成する。

2 検討会に座長を置き、座長は委員の互選により選出する。副座長は委員の中から座長が指名する。

(会議)

第5 検討会の会議は、座長が必要に応じて招集する。

(報告)

第6 検討会の座長は、必要に応じて会議内容等について市長及び関係者に報告するものとする。

(設置期間)

第7 検討会の設置期間は、平成26年11月26日から平成27年3月31日までとする。

(庶務)

第8 検討会の庶務は、くらし文化部たつせがある課において所掌する。

(要綱の失効)

第9 この要綱は、検討会が解散した時点で効力を失う。

(委任)

第10 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年11月26日から施行する。

長久手市観光交流基本計画改訂検討会委員名簿

◎座長 ○副座長

	氏名	所属	職名	備考
学識経験者	松宮 朝 ◎	愛知県立大学	教育福祉学部准教授	
	林 大策 ○	愛知淑徳大学	交流文化学部准教授	
観光関係団体	堀場 修二	市観光交流推進会議 理事会	運営担当理事	
	高橋 綾太		催事担当理事	
	水野 勉	市観光交流推進会議 広報・催事委員会	委員	トヨタ博物館 企画・広報グループ
	日高 輝夫			愛知高速交通(株) 総務部総務課企画営業グループ
	加納 健一			(公財)愛知県都市整備協会 企画・調整グループ
	加藤 昭文			長久手市文化協会 副会長
	加藤 俊郎			長久手市商工会 事務局長
	山下 孝司			(株)長久手温泉ござらっせ 支配人
古屋 道子	社会福祉法人日本介助 犬協会 広報部			
市民・団体	中野 鉄也	市古戦場再整備構想 ワーキンググループ	委員	長久手市郷土史研究会 会長
	酒井 賀津子	市都市農地活用検討 委員会	委員	酒井設計室代表
	加藤 裕美	ながくてアートフェス ティバル実行委員会	委員	文化の家アートスクール 講師

(順不同、敬称略)

2 アンケート調査

① 調査期間

平成 27 年 1 月 13 日～ 2 月 10 日

② 調査方法

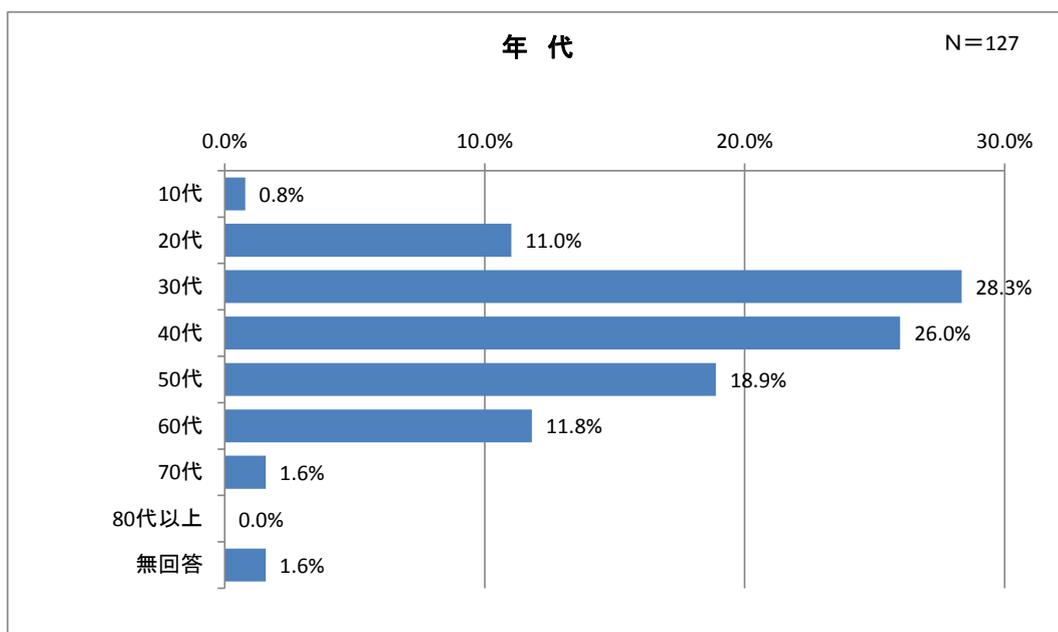
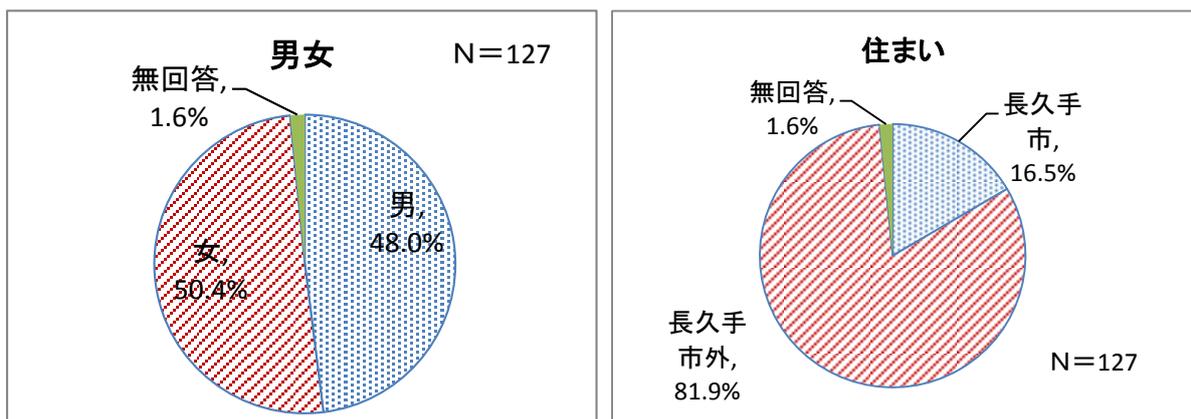
直接配布・回収（対面、メール、Fax 等）

③ 対象

- ・学識経験者（長久手市内 4 大学）
- ・観光交流推進会議会員
- ・名古屋コンベンションビューロー関係（名古屋市、犬山市、瀬戸市、豊田市）
- ・長久手市内施設利用者（モリコロパーク、トヨタ博物館アピタ長久手店）
- ・長久手市外の在勤者（主に名古屋市在勤者、一部自治体観光関係者）

以上配布 150 票 有効回収数 127 票

※ここでは、本編で掲載したアンケート結果を除く、その他の結果を掲載しています。



問2 長久手市の中のサードプレイスの具体的意見

お店	場所	その他
Benkei (4)	モリコロパーク(6)	モリコロパーク
松本珈琲工房(3)	さつきとメイの家 (2)	モリコロ：クラフト作家のイベント
ピエールプレジューズ(3)	モリコロ日本庭園	モリコロパーク学園祭
安江(2)	トヨタ博物館 (2)	モリコロパークからみる市内風景
アピタ(2)	アピタ(3)	ながくて冬まつり(3)
若草(図書館にある喫茶店)(2)	文化の家(2)	ながくてアートフェスティバル(2)
コトコトキッチン(2)	文化の家フリースペース	図書館通ライトアップ(2)
釣具上州屋	中央図書館(2)	文化の家コンサート、演劇、オペラ
アルキペラゴ	中央図書館周りの小径	長久手古戦場桜まつり
cafe flower	図書館横の流れ(噴水)	和ものペット(猫、犬他)
nicori factory	公園(2)	長久手クラシックカーフェスタ
カフェ meal,baroque	リニモからの景色	納涼まつり
チェスティーノ	リニモからみる市内の風景	うまいものまつり
コメダ珈琲	リニモ先頭車両の先頭席	警固まつり
ふたがみ	ござらっせ温泉	リニモウォーキング
スタバ	香流川	県芸の演奏・演奏家
和食処(食べ物、雰囲気合う)	香流川沿いの風景	
木もれ陽コーヒーファーム	杵ヶ池公園(2)	
お菓子のスイーツ・イソオ	桧ヶ根公園	
ござらっせ	色金山展望台	
あぐりん村	カフェ	
ひらのや	立石池周辺が散策できる	
五右衛門	南部	
On Seven Days	東小の南の農地など	
びっくりドンキー	福祉の家	
Tomashu	鉄工房たね庵	
アヴァンセ	おうち	
ホームセンター		
ドラゴンズ		

問6 自由記述

○長久手市内の回答者

<キーワード>

自由記述内容

自然	宅地開発や利便性にとらわれると長久手の調和のとれた自然が崩れる。
近隣の人	遠くから人を多く呼ぶのではなく近隣の人が安らぎを求めて集えるまちを。
ゆるキャラ	ゆるキャラをつくる
駐車場整備 貸自転車	駐車場の整備、図書館や文化の家の駐車場開放。観光地のような1日駐車可能な駐車場の整備及び貸自転車の整備。
農業体験	農業体験で知る四季をモチーフにした観光。作る、食べる、保存するを重視。
歴史(まつり)	長久手には警固まつりや棒の手等があるのに広報がまだまだ行き届いていないと思う。市内・市外に向けてもっとアピールしたらよいと思います。
歴史(古戦場) おもてなし	長久手で観光と言えば、ズバリ古戦場です。この日本三大合戦の長久手古戦場をもっと大切に、来訪された人に満足感を与えられるよう施設、設備、おもてなし、ほか充実させる必要があります。現状の取り組み、体制には不満があります。
文化マネジメント 自然活用	オリジナルな観光を考えると景気や流行に左右されにくい産業が望ましい。文化(カルチャー)は空腹を満たしてくれるものではないが、生きていくためには心の支え励みとなり絶対必要である。なくてはならないものだと思う。文化施設(文化の家含む)マネジメントの中で観光との関係を今後検討し構築する。屋外での活動や自然を利用した活動にもさまざまなスタイルを検討する。
古戦場 情報センター めぐる観光 観光協会設立	長久手合戦をテーマにした古戦場公園の整備と修景とともに、情報センターとして市内に点在する史跡をも案内する。市内をウォーキングしながら“めぐる観光”ができるという長久手の魅力を発信し、長久手観光協会を設立できるような取り組みを、市民とともに実現していただきたい。
道の駅、歴史	歴史を中心とした道の駅をつくってほしい。
レンタサイクル システム	リコモと自転車を使って市内を自由に回れるように、外部方の人たちが自由に借りられるレンタサイクルシステムを実現してほしいです。(奈良や京都のように)
新しい「観光」 づくり 市民と考える	観光とは何かの絞り込みが必要。むしろ観光の新しい解釈を長久手で作り出すべきではないか。市民とともに「観光」を考える場が継続してあるといい。
学生の活用	平均年齢の若いまちなので、学生の力を活用した取り組みがあれば、オリジナリティが出てくると思う。
長久手オリジナル観光 長久手合戦 イケア(商業) モリコロ トヨタ博物館 体験工房 北欧感覚	長久手のオリジナルな観光について。一般の観光という概念を捨て独自の発想で思考することは大変良いと思います。長久手市は通常型の観光は無理であり、面白味もない。まず、長久手市のイメージをどう売るか。①やはり長久手は、長久手合戦(誰もが知る貴重な財産)これは外せない。②イケアが出店(現在注目の的)。この2点をメインに、モリコロパーク、トヨタ博物館につなげ、これはもう立派な観光資源であります。そして、田園風景、大学等々長久手のまち並みがイメージされてきます。今、観光地では、お客さんの要望が新しくなっています。まさにその体験型です。いまある施設で体験工房が大ヒットしています。具体的には長久手市

おしゃれを売る街	では、イメージを大切に体験型を提供してはいかがでしょうか。イメージは歴史と北欧感覚です。音楽イベント、芸術アート、街路にはアート作品を。長久手市には、数多くのグループがあります。書芸、彫刻、絵画、ダンスなどなど、市民だけで楽しむばかりでなく、この財産を観光に活かしてはいかがでしょうか。長久手に行って刺激され、ホット気分癒されるそんな観光があってもいいと思います。食事をし、温泉に入り、買い物をして、趣味を楽しみ、ゆっくりくつろぐ、長久手はそんなおしゃれを売る街でありたいと思います。そんな場の施設、市民のグループとの連携を図り、市民ともども繁栄を図れるのではないのでしょうか。
----------	---

○長久手市外の回答者

<キーワード>

自由記述回答内容

モリコロ B1 グランプリ	モリコロでB1 グランプリ的なイベントができるとよい。オリジナルイベントが毎年できないか
「若くさわやかな街」 アピール・発信	新しい街というイメージが長久手にはあります。また、店舗等で接する人々は、40代、50代の方々が多く、「若くさわやかな街」のイメージがあります。長久手を訪れて、そうした人々と接すると非常に心地よく対応を頂きます。一方で、観光でその土地を訪れる時は、人懐っこい人々と触れ合う楽しさもあります。こうした部分も長久手の「若くさわやかな街」のイメージとあわせてアピールできると興味が惹かれるのではないかと思います。
おもてなし コンシェルジュ	もう一つの視点ですが、観光に来られた方々と接する方々がコンシェルジュとしての役割をされるとお客様にとって、利便性が高くなるのではないかと思います。お客様から自分の仕事の分野以外のことを尋ねられたときに、お客様の要望をくみ取り、お客様が満足できる回答ができると素晴らしいのかなと思います。
フェスティバル (音楽・芸術・アートなど)	何らかのフェス(音楽・芸術・アートなど)をモリコロパークで行う
芸術の街	芸術の街ということをもっと打ち出してほしいです
自然 若い世代、ファミリーとアウトドア	自然も多く、若い世代のご家族が多いので、ファミリーで楽しめるようなアウトドアイベント
歴史(棒の手、古戦場)が魅力 大学、おしゃれな街	市外の在住ですが、正直「日進と長久手と東郷」あたりの境界がわかりません。アピタがあるのが長久手というイメージです。東名高速で走行していると、長久手に入ると棒の手の看板があるので古戦場のイメージと、日進他を含め大学(愛知学院大学他)近くのおしゃれなお店が多いイメージを持っています。新しいものはいつでも作り足すことができますが、歴史的なものは今からはつくれません。歴史ある地域を活かした観光が魅力になるのではないかと思います。
周辺との連携 立ち寄りルート	周辺市との距離を近く感じるので、周辺市とあわせた取組みや途中の立ち寄りルートとしての案内はどうか。

住みよさ体験の ビジネスモデル	住みよさランキング4位というのを活かすため、また、基本理念を体験してもらうために「住みよさ体験」を行う。具体的には住宅メーカーと協力しモデルハウスなどで「住む」体験ができる戸建、もしくは共同住宅を何戸か用意して、実際に長久手に住んでもらう（1泊2日）というのがあれば面白い。有料だと旅館業法などのハードルがあると思うが、名古屋のベッドタウンというのを逆手にとって新しいビジネスモデルができる気がします。
歴史	長トラの復活
ゆるキャラ	ゆるキャラによるPR
歴史 ゆるキャラ	長久手歴史トラベラーズがとても印象に残っています。クーテシガーナがとてもかわいらしいので、グッズをつくるとか、ゆるキャラとして全面に出してみてもいいのでは？
香流川散策 自転車	例えばモリコロパークから藤が丘まで、香流川を散策しながらとか自転車だけが走れる道路を1年に何日かだけ限定して楽しめることを考えると、オリジナルな観光になるのではないのでしょうか
田園風景、農業 農に触れられる 場	広くて田園風景が広がり農業が盛んというイメージがあり、名古屋市内からも近いので、市民農園（貸農園）をもっとつくり、名古屋市内に住む人や長久手市内に住んでいるが新興住宅地で庭が狭いという人が農に触れられる場をつくるとよいと思う。
スイーツ、食べ物 サイクリング ウォーキング 歴史、里山、商業	特産品を活かしたスイーツや食べ物があるか？（長久手に来て何を買う？）長久手に来て何をやる？（史跡や名所を巡るサイクリング、ウォーキングコースがあるとか？）長久手らしい古き良き里山の風景を新しい商業施設などが増える中どう見せていくか。
歴史、自然、お しゃれな店のセ ット 自然が弱い	例えば3世代で訪れる、楽しむときに、歴史、自然、おしゃれな店というセットになると思われるが、自然（体験・交流）の部分が弱いと思われる。また、名産品にかける部分が気になります。
体験型（音楽・ 芸術、民芸等）	地区によって特色が異なるため、それを多様性として進めることも有効かと思われます。体験型（音楽・芸術、民芸など）の小さな止まり木が市民の手によってつくられていくことを期待します。
公衆無線 LAN 情報、インターネット	訪日外国人観光客からの不満が多いインターネットアクセスについて、長久手市全域をカバーする無料の公衆無線LANの設置。
甲冑試着体験	甲冑の試着体験ができる場所があるとよいと思います。
健康、自転車、 サイクリング 資源ネットワー ク	自転車、サイクリング人口が増えている、健康志向が高まっている中、長久手市にはモリコロパーク他、健康に良い環境をアピールできる場所が多いのと同時に、史跡など歴史的資源も多数あり、自転車で巡るには絶好です。自転車でそういった場所を巡るイベントを多数開催して、全国に健康的なまちをもっとアピールできるのではないのでしょうか。
観光まちづくり の 市民理解・体験	交流人口を増やす＝「観光まちづくり」はまさに貴市のスローガンでもある。「住んでみて！訪れてみて！いいまち長久手」という目標に向けて必要なことですが、この意味をどれだけ市民に理解・体感してもらえるかということが重要だと思います。

市民の参画、関わり	「暮らしやすい・住みやすい」まちづくりは市民の誰もが同意してくれることですが、「訪れてみて」いいまちづくりのためにどうして市民が関わらなければいけないのか、例えば名古屋に通勤、通学する住民にとってどんなメリットがあるのか、「訪れていいまち」が「暮らしやすい・住みやすいまち」とどうつながるのかを理解してもらい市民主導で物事が生まれていくまちづくりが長久手には必要だと思います。
歴史(古戦場) 集客施設 大学 温泉施設 リニモ 新たな観光施設	長久手の特徴 ①全国的に有名な史跡がある(古戦場) ②全国的及び多数の集客を見込める施設がある(トヨタ博物館、モリコロパーク) ③若者が多い(大学が多い) ④宿泊施設がない(温泉施設はある) ⑤住みよい街である(逆に観光という点でどうか) ⑥車以外の交通手段(リニモ)がある(南北にはない) ⑦市外、県外にアピールできるものが少ない。以上の点をふまえて考える必要がある(新たな観光施設が必要かと思われる)
交流-環境・人・自然・多世代	環境と人と自然や、世代を超えた人との交流。便利で子ども、高齢者にやさしいまちづくり。
大型施設誘致	大型施設整備、誘致
交通公園 子どもの遊び場	モリコロパーク内に刈谷交通公園のような子どもの遊び広場を取り入れてほしい
歴史、スタンプラリー イベント	史跡をめぐるスタンプラリー 多くの方にイベントや取組を知ってもらい参加を促してほしい
住みやすい街 道路整備 公共交通機関整備 宿泊施設整備 新規観光施設誘致	<p>長久手市が「住みよさランキング2014」で全国4位に選ばれたということですが、現在学生の街、スイーツの街といった印象がある上に、今後さらにイケアやイオンができるということになり、まさに住みやすい街になっていくことが予想されます。</p> <p>そういった中で観光に力を入れることは非常に難しいことであり、逆に市民の方々に迷惑がかからないかと心配するところでもあります。</p> <p>それでも観光に力を入れていくことになれば、最初に交通機関の整備が必要になると考えられます。現在の長久手市内の観光ということを考えて宿泊しての観光というものは難しく、日帰りが多いものと考えられます。(名古屋市などでの宿泊は考えられますが…)そういった点とトヨタ自動車の本拠地愛知県ということを考えて自家用車で来られるお客様が多く、観光に力を入れた結果駐車場不足からの違法駐車、交通渋滞などで市民の皆様に迷惑を掛けることにもなりかねません。それだけでなく周辺市町村から長久手市に来るには公共交通機関がないとの声をお客様から聞くことも多くあります。そういったことから交通機関の整備は最初に行う必要があると考えられます。</p> <p>また、体験型観光は最近話題ではありますが、そこには宿泊が少なからず関係してくるものと思われます。長久手市内には宿泊施設が少なく、複数日での観光が難しい状態であると考えられます。日帰りでの体験型観光は近隣からしか人を呼べるものではなく、遠方から人を呼ぶには宿泊施設が必要となると思われます。</p> <p>それらの整備の目的が立ったとしての話としては、新規大型観光施設の誘致が必要と考えられます。現在長久手市にある県外・海外からも人を呼べる施設としてはモリコロパークとトヨタ博物館だと考えられますが、それだけではまだまだ弱いと考えられます。かといってテーマパークのようなものを誘致するのは失敗のリスクも多く考えられます。そのため今後予定されているイオンやイケアのような場所に他の所にはない何か目玉のようなものを作ることは難しいでしょうか。そこでしか売っていないもの、そこでしか体験できないものなど何か他県とは言いませんが他の市町村からでも来たくくなるようなものがあれば、それに伴って他の施設に行くことは十分に考えられることだと思います。</p> <p>以上のことから今後長久手市が観光で人を集めることを考えるには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路整備等の公共交通機関の整備 ②宿泊施設の設置 ③新規観光(複合)施設の誘致 <p>ということが必要と考えられます。</p> <p>2050年を見据えた観光の形ということでしたので漠然とした内容になりましたが、長いスパンで考えれば色々な観光施設を作ることが出来ると思いますが、それに伴っての整備が、住みやすい街を維持していくためには必須だと思われます。</p>

長久手市の観光・交流に関するイメージ調査アンケートのお願い

平成 27 年 1 月 吉日

長久手市では、愛知万博を機に交流人口が増加する中、平成 19 年に市観光交流基本計画を策定しました。この計画において、今後の観光交流に関する方針を掲げるとともに、具体的な施策を提示しました。

計画策定から 7 年が過ぎ、これまでの間、長久手町から長久手市となり、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）の整備が完了し、リニモ沿線でイオンやイケアの進出が決まるなど新たな観光誘因が発生していることから、市観光交流基本計画を改訂することになりました。

市内には従来の観光地をイメージする観光資源（非日常的な資源）はありませんが、東洋経済「住みよさランキング 2014」において、総合評価全国 4 位という評価をいただきました。豊かな自然環境、高層建築物がない開放感、学生が多くおしゃれな店も多い「住みやすい街」「若い街」というまちのイメージが本市にはあると市外から訪れる方から聞きます。あわせて、市民と市役所職員も幸せ実感調査隊として、市民の住みよさから幸せ度を測る「幸せのモノサシ」づくりが始まり、幸福度の高いまちを目指しています。この様子を、都市生活者への観光資源（異日常的な資源）として提供できるのではないのでしょうか。

また、旅行スタイルの多様化に伴い、風光明媚な名所や旧跡を訪ねる従来型の観光から、訪れた先の人や文化（地域資源）に触れる「体験型の観光」へと全国的に観光客のニーズが変化するなか、都市生活者へ職場、家庭以外の第 3 の場所（サードプレイス：ホットとする場所）を提供するなど、2050 年を見据えたオリジナルな観光の形をまちづくりとして考えていく必要があります。

そのような背景から、現在、市内の観光施設団体と観光をまちづくりとして考える市民等をメンバーとした観光交流基本計画改定検討会において、これからのオリジナルな観光について考えています。

このアンケートについてお答えいただいたみなさんのお考えを、観光交流基本計画改定の資料と活かしていきたいと思い、アンケートの趣旨をご理解いただき、お忙しいところ恐縮ですが、みなさまの本市に対するイメージや体験型観光についてお考えをお聞かせください。

長久手市長
吉 田 一 平

以下の設問にお答えください。該当するものに○を、その他の意見については、具体的にご記入ください。

問1 あなたの長久手市のイメージについてお聞きします。「長久手市」といった場合に、あなたが**イメージするキーワード**を、お教えてください。(該当するもの**すべてに○**)

<長久手市からイメージされるもの・キーワード>

1. 快適	2. 福祉	3. 質のよさ	4. 豊か	5. 安心安全
6. 便利	7. 豊かな緑	8. 田園風景	9. 里山	10. 農地
11. 東部丘陵線（リニモ）	12. 丘陵地	13. 川、池、水辺	14. 古戦場	
15. 愛・地球博記念公園（モリコロパーク）	16. 博物館・美術館	17. おしゃれ		
18. 歴史	19. 健康	20. 温泉	21. 旧集落	22. 新興住宅地
23. いなか	24. 都市	25. 医療・病院	26. 商業地	
27. ロードサイド店舗	28. 大学	29. 旧地名	30. 公園	
31. アート	32. 街道	33. 優しさ	34. その他（	）

問2 あなたは長久手市の中で、**サードプレイス（ホッとする場所、変えたくない場所、自分にとっての憩いの場所など、好きな場所やイベントなど）**を、具体的にご記入頂くか、以下から選んでください。(該当するもの**すべてに○**)

<長久手市内の好きな場所・もの・こと>

★あなたの好きなお店（よければ具体的に	）	
★あなたの好きな場所（よければ具体的に	）	
★あなたの好きな人・イベント、何でも （よければ具体的に	）	
上記以外で、以下にもあればお選びください。		
1. モリコロパーク	2. 田園の風景・景色	3. 香流川
4. 文化の家	5. 中央図書館	6. 長久手温泉ござらっせ
7. あぐりん村	8. 共生ステーション	9. まちづくりセンター
10. 平成子ども塾	11. トヨタ博物館	12. 名都美術館
13. 古戦場公園・郷土資料室	14. 色金山歴史公園（茶室）	15. 杵ヶ池公園
16. 前熊の山車	17. 岩作神社	18. 景行天皇社
19. 安昌寺	20. 警固まつり・棒の手	21. 香流川緑地
22. 愛知県立芸術大学	23. 愛知県立大学	24. 愛知医科大学・病院
25. 愛知淑徳大学	26. 農業試験場	27. 東部丘陵線（リニモ）
28. シンシアの丘（介助犬総合訓練センター）	29. 図書館通り	30. けやき通・はなみずき通
31. せせらぎの径	32. はなみずき広場	33. その他（
		）

問3 今後の将来に向けて、長久手のまち中を**仕事以外の遊びや観光、外出で移動するとき**、あなた自身、またはあなた以外の人が、どんな**移動手段を重視**するのがよいと思いますか。
(**2つ以内**に○)

1. リニモ	2. 車	3. 自転車	4. 徒歩	5. バス	6. バイク
--------	------	--------	-------	-------	--------

3 ながくての手

みんなのフォーラム「ながくての手2015」

1 フォーラムの趣旨

- 昨年度のフォーラムでは、「地域資源の活用」をコンセプトに、観光交流、市民協働、大学連携、食農交流、芸術振興、国際交流、歴史文化、福祉のカテゴリーで、長久手の未来についてそれぞれの視点から「ながくての手」の一手を紹介し、活用することで、観光資源となることを提言しました。
- 今年度のフォーラムは、現在改訂中の長久手市観光交流基本計画を踏まえ、歴史、施設など既存の観光資源の他、市民のおもしろい活動（**㊦** 日常）を磨き、魅せ、市民、来訪者が活動に参加し、みんなで交流するまちづくりを長久手オリジナル観光「ながくてスタイル」と打ち出しています。その**㊦** 日常を表現し、各市民プロジェクトの連携と新たな観光交流、観光のまちづくりの観点から、市民やコミュニティを主体としたまちづくりのあり方を考え、長久手オリジナルの観光戦略を提案します。

2 主催

長久手市観光交流推進会議・長久手市

3 実施内容

第1部(会場 アトリウム)

- オープニングライブ 青柳努、小林香代(ボサノバ) (9:30~9:40)
- ①男女共同参画トークセッション (9:45~11:00)
～しごと子育てもみんなが主役～
コーディネーター: 中島美幸氏 愛知淑徳大学非常勤講師
スピーカー : 「N 十色(ながくてといろ)」メンバー
社会で働く母や父、主婦、若者それぞれの立場から、日々感じる想いや考えを語りました。
会場での意見
・しごと子育てはもちろん、男だから女だから「できる」「できない」はほとんどない。
・お互いを思いやるちょっとした一言で、みんなが個性や得意を活かし楽しく生活していくべきである。
・「男女共同参画」という言葉自体がなくなる社会にしていきたい。
- ミニライブ ハナミズキ&シモゴンダス「愛の古戦場」 (10:50~11:00)
- ②市民協働トークセッション (11:00~12:30)
「住み開き」～「私」を少し開くことで、まちをおもしろく！～
ゲストスピーカー : アサダワタル氏 日常編集家
スピーカー : 「なでラボ」メンバー他
長久手に「住む」という価値をテーマに、「私」を少し開いて「公」の場を生み出し、新しく、おもしろくて楽しいコミュニティ(人と人の集まり)を創り出すにはどうしたらいいのかを「住み開き」を提唱するアサダ氏と参加者が一緒に考えました。
- ③見守りサポーターながくて(初級)養成講座 (12:30~13:00)
講座主催: 社会福祉法人長久手市社会福祉協議会
地域の見守りが必要な人の早期発見を担うためのアンテナ役となるサポーターを要請し、新しい見守り体制を作ることで、地域のつながりの再構築を目指します。
初級、中級のうち、あいさつを中心とした活動を行う(初級)養成講座を行いました。

テーマ ～発見！わたしのサードプレイス～ ながくての未来の一手

パネリスト各氏からさまざまなまちづくりの現状や計画について、「サードプレイス」という視点を交えながら、発表していただき、また参加者と一緒にディスカッションしました。

■コーディネータ

林大策氏 愛知淑徳大学交流文化学部准教授

放送局勤務の傍ら社会人大学院で地域活性化を研究。2014 年より現職。
著書に「物語のあるまちへ旅にしよう」(リベラル社)
「名古屋いい店うみや〜店」(文藝春秋)

■パネリスト

鈴木輝隆氏 江戸川大学社会学部現代社会学科教授

川本えこ氏 東三河設楽町アドバイザー、FMAICHI パーソナリティ

FM AICHI「エクステーション」などを担当。ベジタブル&フルーツコミュニケーター(野菜ソムリエ・マイスター)として食の分野でも活動中。野菜・果物の講演会、イベント、メニュー考案、食のプロモーション&プロデュースなど手がけている。また、愛知県設楽町のアドバイザーとしても活動している。

佐藤倫子氏 元長崎観光親善大使、フリーアナウンサー

大学を卒業後、メ〜テレに入社。在局中は、報道、バラエティ、スポーツと各ジャンルで実力を発揮、やわらかで心地よい語り口と、愛くるしい笑顔で支持層を広げる。2012 年同局退社。2014 年からCBC テレビ「ゴゴスマ」火曜レギュラー、ヨガインストラクターほか、多方面に活躍の場を広げている。

松本太一 氏 長久手市民、ながくて冬まつり2014実行委員会企画部会長

ながくて冬まつりにおいて、10 万個のエコモザイクアート展示(2013)、巨大紙芝居(2014)など、独創的なアイデアで市民を巻き込む交流イベントの企画立案者として活動している。

■ディスカッション要旨

- 趣旨説明(コーディネータ林氏より)
長久手の観光の視点として「サードプレイス」
・長久手市第2次観光交流基本計画(案)から、「いい日常＝(E)日常」提案、
・住みよさランキング紹介など

- パネリスト紹介
4氏登場、基調講演の感想など

- 各パネリストによる「私のサードプレイス」紹介
川本氏(設楽町事例)、佐藤氏(長崎事例)、松本氏(古戦場公園)

パネルディスカッションに向けた一般参加者からの意見収集

「ながくての手2014」に続き、来場者には、「私のお気に入り空間」と題して家、仕事場(学校)以外での、好きな場所での過ごし方を書いていただき、会場内に設置したポストに投函していただきました。
※ユニークな意見はパネルディスカッション会場において発表しました。(承諾者のみ)

My 3rd Place
わたしのお気に入り空間

NAME

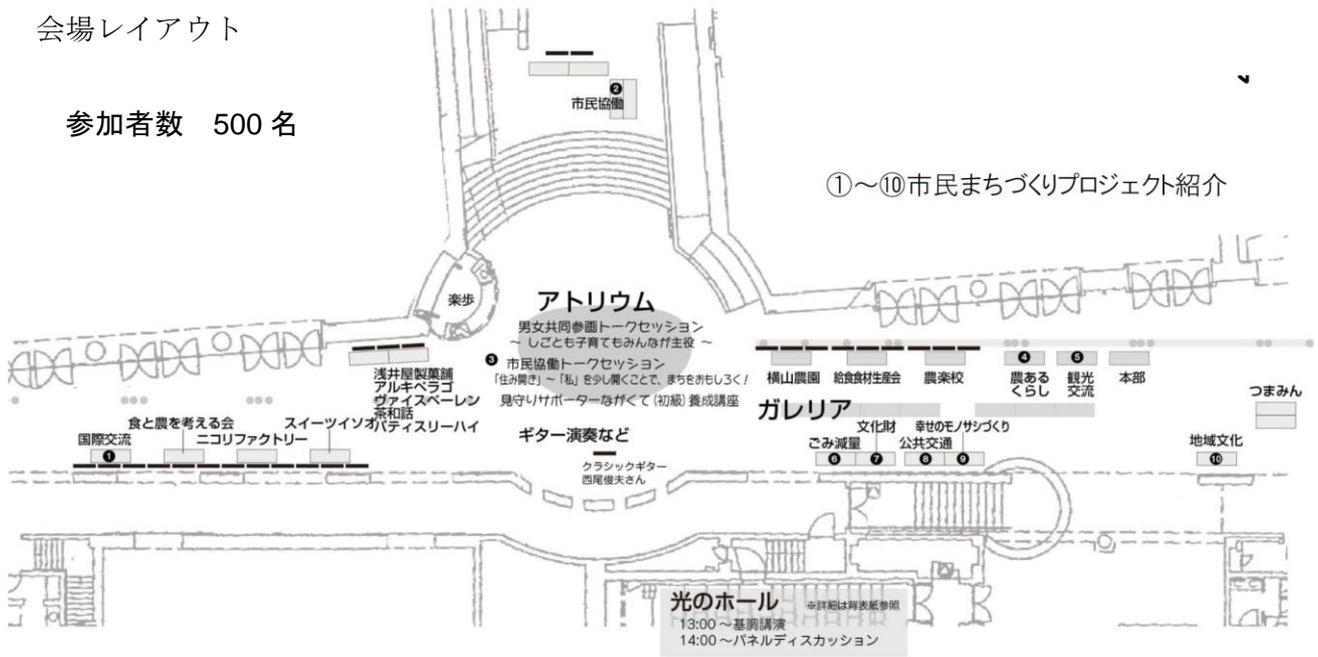
4)参加者の意見紹介

参加者から募集した「My 3rd Place 私の気に入り空間」43枚のカードのうち3枚のご意見を記入者自らプレゼンしました。

- ①中央図書館の窓際のイス、公園西駅へ続く道
- ②あそびとおもちゃの広場
- ③田んぼ(収穫する前)、自分の部屋から見る星空、
ござらっせ近くの川沿い

会場レイアウト

参加者数 500名



4 パブリックコメントの結果

① 意見募集案件名

第2次長久手市観光交流基本計画(案)

② 募集期間

平成27年2月19日(木)から平成27年3月20日(金)まで

③ 閲覧場所

たつせがある課窓口、市ホームページ、市役所西庁舎1階行政情報コーナー

④ 募集結果

2名(3件)

⑤ 提出された意見及び意見に対する市の考え方

	意見	市の考え方
1	<p>●歴史資源の発掘について</p> <p>縄文時代から、今までの歴史の歴史書を編集したらどうか。</p> <p>編集には、学識経験者、ボランティアなどを活用する。</p>	<p>国指定史跡の長久手古戦場をはじめとした史跡及び文化を有する本市にとって歴史は、重要な観光資源の一つです。</p> <p>現在、本市には、古代から近代までの「長久手町史」を編纂済みです。</p> <p>また、小牧・長久手の戦いをはじめとした歴史をわかりやすく市民及び来訪者に伝えるツールとして、「劇画 小牧・長久手の戦い ～激突秀吉と家康～」(一般向け 日本語版、英語版)をはじめとした歴史、民俗文化関係書籍を作成しております。</p> <p>観光資源とした歴史資源を磨き、情報発信していくには、書籍作成の他、第2次長久手市観光交流基本計画35ページのように体験プログラム等の企画実施も有効であると考えます。</p>
2	<p>●Googleが開発したIngressというゲーム(有料)を活用した観光をしないか。</p> <p>ゲームの活用を考える会を募集したら、愛知県内のゲーム好きの者が集まり、観光資源の発掘・活用をしてくれるのではないか。</p>	<p>他県では、有志のIngress活用研究会を設けて、観光振興、地域活性化、情報発信の可能性、有効性を検討している事例があります。このような事例の情報収集をしながら、第2次長久手市観光交流基本計画32ページ及び38ページに記載しているように、市民、観光協会との協働により、観光資源の情報発信など取り組みを行政とも連携して検討していきます。</p>

3	<p>●中日新聞の「ながクポ」と共同でイベントをしないか。「パン・スイーツめぐり」を実施し、ながクポに市内パン屋やスイーツ店のクーポンを掲載し、リニモで巡ってもらうスタンプラリー形式はどうか。</p>	<p>市内店舗の活性化にもつながるイベント等の実施についても情報収集をしながら、第2次長久手市観光交流基本計画32ページ及び38ページに記載しているように、市民、観光協会との共同により、観光資源の情報発信など取り組みを行政とも連携して検討していきます。</p>
---	--	--

第2次長久手市観光交流基本計画

発 行：長久手市

企画・編集：長久手市暮らし文化部たつせがある課

住 所：〒480-1196

長久手市岩作城の内60番地1

TEL 0561-56-0602（直通）

FAX 0561-63-2100